

JFTC 「2008年度わが国貿易収支、経常収支の見通し」参考資料

2007年12月5日(水)
 社団法人日本貿易会
 国際・調査グループ
 (3435) 5959

1. 通関貿易

項目	2006年度実績 (兆円)	【2007年度見込み】 (兆円)	【2008年度見通し】 (兆円)
通関貿易収支	9.0	11.5 過去7番目の水準	16.1 過去最高を更新 (22年ぶり86年度14.4兆円を更新)
輸出	77.5	85.7 過去最高を更新 (6年連続)	91.0 過去最高を更新 (7年連続)
輸入	68.4	74.2 過去最高を更新 (6年連続)	74.9 過去最高を更新 (7年連続)
(製品輸入比率)	57.3%	55.1% 前年度比 マイナス2.1ポイント	55.7% 前年度比 プラス0.6ポイント

【主な増減寄与品目】

2007年度

2008年度

輸出 10.6% 増加

(寄与度)	(品目)	(伸率)
+3.4	輸送用機器	14.1%
+1.8	一般機械品	9.3%
+1.5	原料別製品	12.6%
0.4	(科学光学機器)	-11.8%

輸入 8.5% 増加

(寄与度)	(品目)	(伸率)
+4.9	鉱物性燃料	18.1%
+1.2	原料別製品	12.1%
+0.8	電気機器	6.3%
0.4	(鉄鋼)	-7.6%

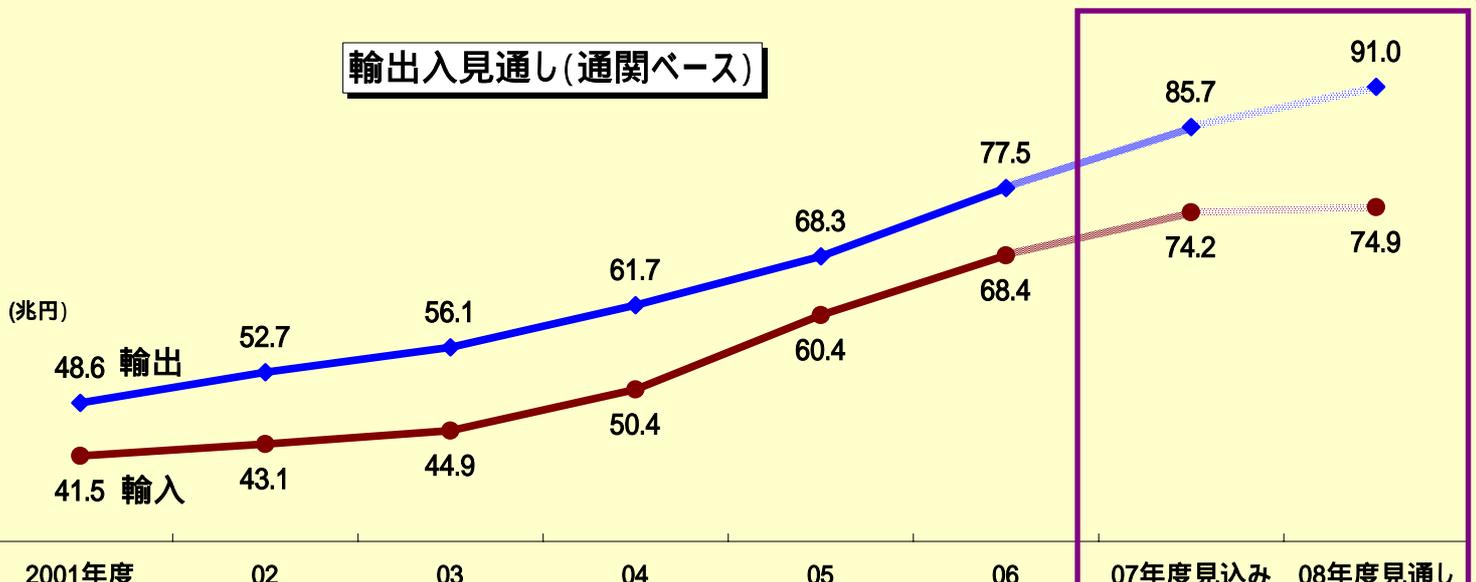
輸出 6.3% 増加

(寄与度)	(品目)	(伸率)
+2.4	輸送用機器	9.4%
+1.4	一般機械品	7.0%
+1.3	電気機器	6.4%
0.4	(鉄鋼)	-7.6%

輸入 0.9% 増加

(寄与度)	(品目)	(伸率)
+0.9	電気機器	6.8%
+0.5	化学製品	6.3%
+0.1	鉱物性燃料	0.4%
1.1	(原油及び粗油)	-6.1%
0.7	(非鉄金属鉱)	-30.2%

輸出入見通し(通関ベース)

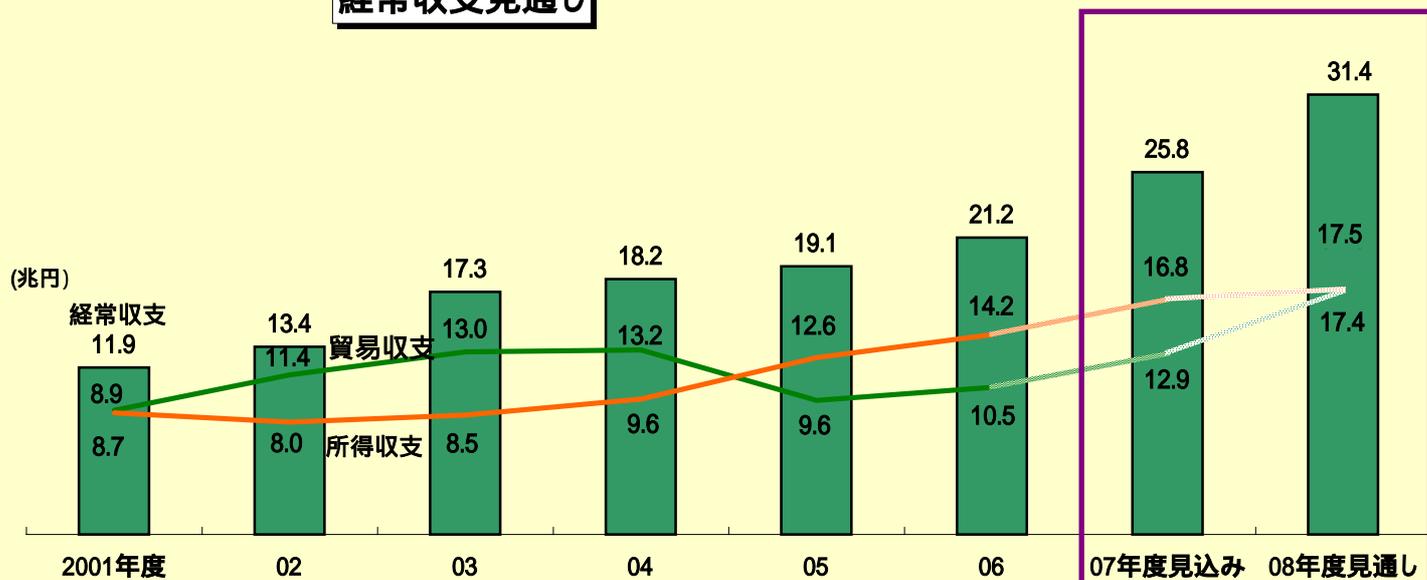


2. 経常収支 貿易収支は過去最高を更新し17兆円台へ、経常収支は6年連続過去最高を更新

項目	2006年度実績 (兆円)	【2007年度見込み】 (兆円)	【2008年度見通し】 (兆円)
貿易・サービス収支	8.2	10.3	15.1
貿易収支	10.5	12.9	17.4 <small>過去最高を更新 (10年ぶり98年度15.8兆円を更新)</small>
輸出	73.7	81.5 <small>過去最高を更新 (6年連続)</small>	86.6 <small>過去最高を更新 (7年連続)</small>
輸入	63.2	68.5 <small>過去最高を更新 (6年連続)</small>	69.2 <small>過去最高を更新 (7年連続)</small>
サービス収支	2.3	2.6	2.3
所得収支	14.2	16.8 <small>過去最高を更新 (4年連続)</small>	17.5 <small>過去最高を更新 (5年連続)</small>
経常移転収支	1.3	1.3	1.3
経常収支	21.2	25.8 <small>過去最高を更新 (5年連続)</small>	31.4 <small>過去最高を更新 (6年連続)</small>

貿易収支は、通関統計ベースでは1986年以来22年ぶりに過去最高を更新、国際収支統計ベースでは計上方法変更により1996年度以降で過去最高を更新。

経常収支見通し



【「わが国貿易収支、経常収支の見通し」】

日本貿易会(会長 佐々木幹夫/三菱商事(株)会長)『貿易動向調査委員会』(14社)が作成。

平成19年度の委員長は伊藤忠商事(株)調査情報室 チーフエコノミスト 北井義久。

日本貿易会の貿易見通しは、委員会下の専門委員会に参加する7商社による商品積み上げ方式を特徴としている。

商品積み上げ方式により作成された通関ベースの輸出入見通しを、国際収支ベースに換算している。

1974年に開始以来、本年で34年目。

日本貿易会 貿易動向調査委員会メンバー会社(社名五十音順・ は専門委員会)

伊藤忠商事(株)

岩谷産業(株)

JFE商事ホールディングス(株)

住金物産(株)

住友商事(株)

双日(株)

蝶理(株)

豊田通商(株)

長瀬産業(株)

阪和興業(株)

(株)日立ハイテクノロジーズ

丸紅(株)

三井物産(株)

三菱商事(株)